

断面の情報は見出せない。

再び、土層断面から情報が得られるのは、博経親王妃郁子墓宮建に関わる一連の土層である。これに関わる幄舎の柱穴は2層から掘り込まれている(ハ)。そして幄舎撤去後柱穴は埋め戻され、その上を墓前整備のための整地層が覆う(1層)。そして、1層の上にさらに最低2面の整地層が確認できるが、これは最後に宮建される博忠親王墓にかかわるものである可能性が最も高い。しかし、博忠親王喪儀録の平面図を照合した結果、該当する幄舎などの施設は今回の調査区外に宮まれていることが判明した。よって、土層断面から明確にその関係を明らかにできないが、整地の契機がこの墓地に最後に埋葬される博忠親王墓宮建以外ないことから、宮建後、華頂宮家墓地全体の最終的な整備に関わる整地と考えることもできよう。

以上、今回の調査結果を記述してきた。調査前の予想とは大きく異なり縄文、弥生期に遡るような遺構、遺物は全く出土しなかった。また、護国寺、護持院に関する遺構、遺物もほとんど存在していない。このことは、今回の調査地域がおそらく寺域のなかでも端部にあたり、後山と称されるような山林であったと思われる、ある程度の規模と存続期間を持つような建物は存在していなかった可能性が高いと考えられる。

(徳田 誠志・清喜 裕二)

磐之媛陵の埴輪の表面に見られる砂礫

奥田 尚

磐之媛陵の埴輪の表面に見られる砂礫を肉眼で観察した。最初に裸眼で資料の表面全体の砂礫を観察し、次に観察良好な部分を選んで、倍率三〇倍の実体鏡で観察した。観察時、砂礫の種類、粒形、粒径、量、及び各々の特徴について留意した。粒形は角、亜角、亜円、円に、粒径は目測により裸眼ではミリメートル単位で、鏡下では〇・一ミリメートル単位で測定した。また、量については非常に多い、多い、中、僅か、ごく僅か、ごくごく僅かの六段階に区分した。

埴輪の表面に見られる砂礫

同定できた砂礫種は、岩石片として花崗岩、閃緑岩、流紋岩、チャート、火山ガラス、鉱物片として石英、長石、黒雲母、角閃石である。各砂礫種の特徴について述べる。

花崗岩 色は灰白色で、粒形が角、亜角、粒径が最大五ミリメートルである。石英・長石、石英・長石・黒雲母が噛み合っている。

閃緑岩 色は灰白色で、粒形が角、粒径が最大〇・五ミリメートルである。長石・角閃石が噛み合っている。

流紋岩 色は灰白色、灰色、暗灰色、淡茶色、褐色で、粒形が角、亜角、亜円、粒径が最大八ミリメートルである。石基はガラス質で、石英や黒雲母の斑晶があるものもある。

チャート 色は灰白色、灰色、暗灰色、黒色、褐色、茶褐色と様々である。粒形は亜角で、粒径が最大七ミリメートルである。

火山ガラス 褐色透明、黒色透明で、粒径が最大〇・七ミリメートルである。貝殻状、球状をなす。

石英 無色透明で、粒形が角、粒径が最大二ミリメートルである。複六角錐あるいはその一部が認められるものがある。

長石 灰白色、灰色、無色透明で、粒形が角、粒径が最大二ミリメートルである。

黒雲母 茶褐色、金色、黒色で、金属光沢がある。粒径が最大〇・五ミリメートルである。板状やC軸方向に発達した粒状をなすものがある。

角閃石 黒色で、粒形が角、亜角、粒径が最大〇・五ミリメートルである。粒状、柱状をなす。

類型区分と傾向

同定できた砂礫種構成をもとに源岩を推定して類型に区分する。源岩を推定する場合、石英・長石・黒雲母あるいは石英・長石・石英・黒雲母、長石・黒雲母、等と噛み合っている花崗岩や片麻状花崗岩、花崗斑岩等が碎かれた砂礫と推定し、他形の石英、長石、黒雲母、白雲母等の砂礫も同様の源岩に由来するものと推定し、源岩を花崗岩質岩とした。閃緑岩質岩起源の砂礫と推定したものは、長石・角閃石、石英・角閃石、石英・長石・角閃石、黒雲母・角閃石、等と噛み合っている岩石片である。流紋岩質岩起源の砂礫と推定したものは、石英の斑晶が見られる岩

石片や複六角錐あるいはその一部が認められる石英が含まれている場合である。

更に、推定される主とする源岩構成以外の砂礫種をもとにして源岩を推定して、亜類型を設けた。

観察した埴輪の砂礫構成は、流紋岩質岩起源と推定される砂礫を主とするIV類型のみである。細分すれば、IV a g 類型、IV a n 類型、IV b g 類型、IV d 類型、IV g 類型、IV g n 類型、IV n 類型となる。各類型の特徴について述べる。

IV a g 類型 流紋岩質岩起源と推定される砂礫を主とし、花崗岩質岩起源と推定される砂礫、チャートの砂礫を僅かに含む砂礫からなる。

IV a n 類型 流紋岩質岩起源と推定される砂礫を主とし、花崗岩質岩起源と推定される砂礫、他形の角閃石の砂礫を僅かに含む砂礫からなる。

IV b g 類型 花崗岩質岩起源と推定される砂礫を主とし、閃緑岩質岩起源と推定される砂礫、チャートの砂礫を僅かに含む砂礫からなる。

IV d 類型 流紋岩質岩起源と推定される砂礫からなる。

IV g 類型 流紋岩質岩起源と推定される砂礫を主とし、チャートの砂礫を僅かに含む砂礫からなる。

IV g n 類型 流紋岩質岩起源と推定される砂礫を主とし、チャートの砂礫、他形の角閃石の砂礫を僅かに含む砂礫からなる。

IV n 類型 流紋岩質岩起源と推定される砂礫を主とし、他形の角閃石の砂礫を僅かに含む砂礫からなる。

僅か十二本の円筒埴輪の観察であるが、典型的にみればIV an類型とIV g類型に属する埴輪とで半数を占める。

埴輪の砂礫採取地

磐之媛陵近くの河川は、南に佐保川や秋篠川、平城山丘陵を越えた北に山田川や木津川がある。これらの河川の砂礫は花崗岩質岩起源の砂礫を主とする。西ノ京丘陵から平城山丘陵にかけて分布する大阪層群は、砂礫層や粘土層を主とし、僅かに火山灰層がみられる。砂礫層の砂礫種は花崗岩質岩やチャートを主とする場合が多いが、僅かであるが流紋岩質岩起源の砂礫を主とする層もみられる。西ノ京から佐紀にかけての大阪層群には粘土層に伴って流紋岩質岩起源の砂礫を主とする砂礫層がみられる。菅原東遺跡の埴輪窯跡が位置する附近の地層は流紋岩質岩起源の砂礫を主としている。

当陵近くで埴輪に含まれる砂礫の採取でき得る地を求めれば、観察でき得た埴輪の砂礫は一点を除いて他は総て西ノ京から佐紀にかけての大阪層群の一部の砂礫層の砂礫（奈良北西）と推定される。この範囲内に含まれる菅原東遺跡の窯跡から出土した埴輪に含まれる砂礫と比較してみれば、砂礫種構成に於いて若干異なると言える。菅原東遺跡の埴輪はIV an類型とIV agn類型が主をしめるが、当陵の埴輪はIV an類型とIV g類型が主となり、類型の構成が僅かに異なる。奈良盆地内から出土した若干の埴輪の表面にみられる砂礫の類型を纏めたのが表二である。奈良北西付近の砂礫構成を示す埴輪が多いと言える。

註(1) 奥田 尚(一九九七) 杉山古墳出土埴輪にみられる砂礫とその採取地。『史跡大安寺旧境内Ⅰ』奈良市教育委員会。

表 1 磐之媛陵・宇和奈邊陵墓参考地の埴輪の砂礫

試料番号	器種	岩										石										鈳										物										海綿の骨片	類型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		花崗岩 裸眼 30倍	閃緑岩 裸眼 30倍	流紋岩 裸眼 30倍	安山岩 裸眼 30倍	砂岩・泥岩 裸眼 30倍	チャート 裸眼 30倍	片岩 裸眼 30倍	火山ガラス 裸眼 30倍	石灰岩 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	長石 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍			角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍	石英 裸眼 30倍	雲母 裸眼 30倍	角閃石 裸眼 30倍	輝石 裸眼 30倍

裸眼＝裸眼観察 裸眼による観察：L＝粒径が2 mm 以上 M＝粒径が2 mm 未満0.5 mm 以上 S＝粒径が0.5 mm 未満 非＝量が非常に多い 多＝量が多い 中＝量が中 僅＝量が僅か 微＝量がごく僅か
 稀＝量がごくごく僅か 30倍＝実体顕微鏡の倍率が30倍 実体顕微鏡による観察：L＝粒径が1 mm 以上 M＝粒径が1 mm 未満0.3 mm 以上 S＝粒径が0.3 mm 未満 -＝以下の粒径がある E＝自形
 貝＝貝殻状 パ＝球状 類型区分は奥田の区分（1992、[庄内式土器研究Ⅱ]を参照）。

表 2 埴輪に含まれる砂礫の類型と出土地

遺跡		磐之姫陵	最行陵 陪冢は号	神功陵	平北右 1.2.3.	小奈邊陵 墓参考地	宇和奈邊 陵墓参考地	杉山古墳	菅原埴輪窯	少年院古墳	星塚古墳	西乗鞍古墳	岩室池古墳	尾沙門塚 古墳	珠城山 3号墳
類型	種類														
I 類 型	deg	奈良東部						1							
	dg	奈良東部						3							
		奈良北西							5	3	8	3			
	dgn	奈良東部		1		6		80							
	dn	奈良東部						2							
	a	奈良北西							1		1		3		
	ab	奈良北西													
	abeg	奈良北西													
	aeg	奈良北西													
	ag	奈良北西	1		3			1	16	2	13	2	9		
IV	agh	奈良北西		2											
	aghn	奈良北西		1	1	2									
		盆地北部		1				20							
	agn	奈良北西		2	5	2	1		8		67	2	8	2	
	an	盆地北部						1							
類 型	bg	奈良北西	2		1										
	d	奈良北西	1												
	e	奈良北西				9									
	eg	奈良北西				17									
	g	奈良北西	3				1		3		6		13		1
	ghn	奈良北西						2							
	gn	奈良北西	1					1	4		4		6	4	
	n	奈良北西	2											1	5
	他		1						1				58	3	2
	合 計		12	38	10	28	12	10	109	38	5	99	7	97	8

数字は観察資料数を示す。個体数ではない。